

## 10 月定例会一般質問要旨

1 番目	1 番議員 仲間 光枝議員（南城市）
1. 消防行政と財政課題について	<p>消防行政において、救急救命活動や多様、複雑、甚大化する災害に即時に対応するための体制を維持、強化し続けることが必要不可欠です。人口減少、高齢化が進行すれば一人当たりの行政コストが割高になるため、構成市町の財政負担も増していくことが想定されますが、今後も消防力の低下を招くことなく、安定した予算を確保、拡充しなければなりません。現状及び課題について以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①財政調整基金の目的と現在高</li><li>②令和2年度と令和3年度中におけるコロナ関係費用（人件費とその他に分類）</li><li>③直近5年における予算を伴う専決処分事案数と金額</li><li>④令和4年7月に策定された「公共施設等総合管理計画」その財源確保についての見解</li><li>⑤県内広域化への進捗状況広域化のメリットとデメリットについての見解</li></ul>
2. 給与誤支給問題への対応について	<p>令和4年5月、島尻消防組合職員より「島尻消防組合職員を対象とする給与調査及び給与支給早期是正に関する「請願」が、組合議会と市町各議員へ提出されました。請願の取り扱いは、島尻消防組合では不受理、八重瀬町議会では資料配布、南城市議会では、6月議会において所管する委員会で審議した結果「審議未了」となりました。ところが、その約1ヶ月後の令和4年7月20日、「島尻消防全職員98人の給与を2006年度にさかのぼって再調査することを決めた」との新聞報道がありましたが、議会への説明もなく現在に至っております。以下伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①再調査決定の経緯とその後の進捗状況</li><li>②調査結果への対応についての見解（過少支給と過大支給それぞれについて）</li><li>③財政への影響についての見解</li><li>④職員への説明経過および今後の説明予定</li><li>⑤事後、誤支給防止のためにどのような改善が図られたか</li></ul>

## 10 月 定例会 一般質問要旨

2 番目	3 番議員 森山 悟議員 (南城市)
1. 人員適正化について	<p>(島尻消防組合定員適正化計画)は、(令和元年～令和4年度)となっておりましたが、目標達成に向け何らかの進展はあったか、現状を確認いたします。</p> <p>①島尻消防組合定員適正化事業の達成率を伺う ②今後の取り組みについて伺う</p>
2. 5 月 31 日の大雨による被害状況について	<p>沖縄本島地方では、梅雨前線の影響により各地に大雨が降り南城市内では、一時間で 110 ミリが降る猛烈な雨がありました。以下について伺います。</p> <p>①八重瀬町、南城市での消防の出動状況について伺う ②災害時での構成市町の協力体制について伺う ③二次災害を防ぐ取り組みについて伺う</p>
3. 救急救命講習会について	<p>高齢化社会により、救急出動等も増える中、救急車の台数も限られている為、今後救える命を考えると救急救命講習をたくさんの方に講習を受けてもらいたいと思う観点から以下について伺います。</p> <p>①講習の実施状況について伺う</p>

## 10 月定例会一般質問要旨

3 番目	2 番議員 宮城 勝也議員（八重瀬町）
1. 財政調整基金について	今年度の基金運用状況について伺う。
2. 具志頭出張所の跡地利用について	島尻消防署八重瀬出張所完成後の具志頭出張所の跡地利用について伺う。
3. 職員派遣について	令和元年度に南城市、令和2年度に八重瀬町へそれぞれ1名の職員が派遣されたが、派遣の目的と成果、令和3年度以降の実施状況について伺う。